



教育関係者・事業者部門
《農林漁業者等》

農林水産大臣賞

南島原ひまわり村

(長崎県) 活動期間 10年

第2のふるさとで食の大切さを学ぶ ～南島原市農林漁業体験民泊～

貴重な体験・素敵な出会い

国内外の修学旅行生を中心に受入を行い、各受入家庭において家業である農林漁業の体験を提供しています。体験の中で収穫した野菜や魚、地元で採れる食材を受入家庭と一緒に調理することで、食に対する関心を高め、海外からの参加者に対しては、日本の食の安全性も伝えています。また、受入家庭と共に食卓を囲むことで親睦を深め、食を楽しむ環境づくりに努めています。



受入家庭と食卓を囲んで「だんらん」

充実した農泊体験のために

より充実した体験を提供できる人材の育成を目的として、受入時に感じた改善点や注意点を共有する意見交換会や食中毒・アレルギー・救命救急等に関する講習会などを開催しています。また、受入家庭同士の食事レシピの共有により、メニューの多様化とともに受入家庭自体も食に対してより興味を持つ機会にもなっています。このような取組が、リピーターを増やす結果につながっています。



料理教室

アレルギー講習会の様子



ここでしか感じることもできない 大きな収穫

家族そろって食卓を囲む機会が少なくなっている現状をふまえ、みんなで一緒に調理して、食卓を囲むことで楽しさや食のありがたさ、家族の大切さを伝えています。短い体験時間にも関わらず、別れの際には感動の涙が浮かび、両者にとって大変有意義で充実した取組となっています。



たまねぎ
収穫体験



民泊先との涙のお別れ



栄えある賞への選出ありがとうございます。農泊を通じて、全国各地に「家族」ができ、その後も交流が続くことがあります。これからも子供たちに食を支える1次産業の重要性や家族の大切さを伝えていきたいと思っています。

南島原ひまわり村 村長 楠田 耕三